

糸我小学校だより

令和2年12月21日



冬休みの行事と大切な家族の会話

二学期がもうすぐ終わろうとしています。子供達は、児童会目標や学級目標、個人目標を達成するために、よく努力しました。そして、社会見学や修学旅行、自然教室などの行事を通して、見聞を広め、自分の役割を果たすことや友達と協力することの大切さを学びました。

さて、今年の冬休みは8日間と短いですが、新年を迎える大切な時期です。ご家庭では大掃除や片付けをしたいと思います。これは、一年の終わりにきれいにして新年を迎えたいという昔からの風習です。ぜひ、大掃除等を子供達にもさせてあげてください。また、昔から受け継がれている新年を迎えるための準備を、子供達にも教えてあげてください。

大晦日、除夜の鐘が鳴り響く中、新しい年が始まります。お正月には、初詣に出かけたり、親戚が集まったりします。しかし、コロナ禍のため、このような新年の行事を控えるご家庭もあるかもしれません。



年末・年始は、ご家族みんなでゆっくりする時があると思います。そのような機会に、ぜひお子様と新年の抱負などを話し合ってください。そして、家族の会話を楽しんでほしいと思います。



高齢者理解の授業 (6年生)

6年生は、高齢者理解について、社会福祉協議会の方の出前授業を、下記に示したそれぞれのめあてに基づいて4回受けました。

11月6日(金) 第1回「いろいろな高齢者を知る」

11月9日(月) 第2回「高齢者期の特徴を知る」

11月12日(木) 第3回「認知症や心の変化について学ぶ」

11月19日(木) 第4回「自分(たち)にできることを考える」

第4回では、おじいちゃんやおばあちゃんから聞いてきた「今の子供たちに期待すること」をもとに、自分(たち)にできることを考えました。高齢者について学ぶとともに、自分の生き方について考えるよい機会となりました。



AQ選果場見学 (3年生)

11月20日(金)に、3年生は「みかんづくりを調べよう」の学習の一環で、AQ選果場見学に行きました。

AQ選果場に入り、子供たちはその広さに驚いていました。はじめに選果場で行われる作業をDVDで観せていただきました。次に、みかんが運び込まれる所や選果する所を実際に見せていただきました。子供たちは、選果するためのレーンが何本も広がっている様子に驚くとともに、選果処理の速さと量にも驚いていました。

この見学を通して、子供たちは地域の産業であるみかんづくりについて、また一つ深く知ることができました。



命の授業

12月4日(金)に、和歌山県立医科大学附属病院の助産師 伊丹絹子さんと池本文香さんを講師にお迎えし、「命の授業」を実施しました。

授業では、受精から10か月の赤ちゃんに成長する過程を画像で見たり、出産の様子を動画で見たりして、命の誕生について学びました。また、低学年では自分の心臓の音を聴診器で聞いたり、高学年では成長に伴う身体の変化や心の変化について学んだりしました。そして、自分の命も、周りの人の命も大切にしなければいけないことを学びました。

<児童の感想(6年生)>

- ・今日の出産や心の事は、理科と保健で習っていましたが、もっとくわしく知る事ができました。本当の出産の時の映像、赤ちゃんの心臓の音など、なかなか見られない、聞けないもので用意してくれたので、とても勉強になりました。私は一つの命が、250兆分の1の可能性で生まれると知って、これからもこの命を大切に生きていこうと思いました。
- ・私は、今日の授業で、命の大切さが分かりました。赤ちゃんを産むところの動画を見て、私のお母さんも、必死に私を産んでくれたんだと分かりました。また、ブラックハート(悲しい、さみしいなどの気持ち)がたまると怒ってしまったり、レッドハート(楽しい、うれしいなどの気持ち)がたまると優しい気持ちになったりするのが分かりました。だから、これからは命を大切に、レッドハートをためて、自分らしく生きていこうと思いました。

